福島県相馬市「相馬双葉漁業協同組合」に支援金を助成

第2ステージ

福島県相馬市「相馬双葉漁業協同組合」６次化推進協議会が取り組む、「浜の漁師飯　浜のかあちゃん飯推進プロジェクト」の応援のため、公益財団法人 日本財団の協力のもと、支援金を助成しました。

2016年6月24日

水産業

キリンビールマーケティング株式会社（社長 布施孝之）は、福島県相馬市「相馬双葉漁業協同組合（代表理事組合長 佐藤弘行）」６次化推進協議会が取り組む「浜の漁師飯　浜のかあちゃん飯推進プロジェクト」への支援金として、総額2,500万円を公益財団法人 日本財団（会長 笹川陽平）の協力のもと６月24日（金）に助成しました。

この地域では、東日本大震災での津波被害により所属漁船の約６割を失いましたが、現在は震災前の６割程度の漁船が稼働できる状況になっています。一方で原発事故の影響による海洋汚染により現在も漁獲対象魚種が限定された試験操業を週に数回実施するに留まっています。
そのような状況の中、相馬双葉漁協、相馬原釜地区青壮年部、女性部相馬支部・鹿島支部が一体となって、新たな加工品の開発に取り組みます。漁師やその家庭では伝統的にその多様な魚をおいしく料理するノウハウをもっており、船上でのまかない飯から、家庭での料理まで自ら水揚げした魚をおいしく食べていました。そのノウハウや加工手法を活かした商品を開発・販売し、‘この地域ならでは’という独自のブランド商品の確立を目指します。安全・安心の取り組みだけでなく、当活動によりこの浜のおいしさや価値を認めてくれる人を増やしていくことで風評払拭につなげ、地域の誇りを取り戻していきたいと考えています。
今回の助成は、「相馬双葉漁業協同組合」の女性部・青壮年部が作る６次化推進協議会が一丸となって協働で取り組む「浜の漁師飯　浜のかあちゃん飯推進プロジェクト」に対するもので、商品開発、ブランディング活動、販路開拓、情報発信などに活用されます。